

議会だより

令和3年

12月号

Vol.65

主な内容

- ・9月定例会……………P4～P5
- ・予算決算委員会……………P7～P8

令和3年 第3回全員協議会

令和3年9月3日 弓削総合庁舎議場にて全員出席で開催

【報告事項】※抜粋

今治～土生航路（芸予汽船）の収支状況及び架橋後の運行体制



平成23年3月就航の“つばめ”

岩城橋開通後の運航体制について、ワーキンググループ（令和3年3月から4回開催）で検討を行った。8月30日、芸予汽船(株)の中間役員会で方向性が次の通り示された。

- 岩城橋開通後の運航便数…7便運航（1便減）
- 時刻改正の時期…令和4年4月1日
- 運航ダイヤ…今後のワーキング会議で検討する

主な質問事項

- 大西幸江 議員……………・生活航路である当該航路の広告宣伝の方向性は。
- 公営事業課長……………・現状（生活航路として）の利用状況を促進していく広告を行う。
- 大西幸江 議員……………・現状の8便運航について1便分の負担を上島町が行うこととしていたが、減便後の負担金割合については話が出ているのか。
- 公営事業課長……………・負担金割合は今後改めて協議することになる。

立石港務所管理業務の民間委託

限られた財源（運航収支）を有効活用し、質の高い公共サービスの実現と行政運営の効率化を図るため、該当業務の民間委託について検討している。

- 主な業務**
- ・生名フェリー乗船回数券、定期券の販売及び乗船券自動販売機の管理
 - ・旅客及び車両の整理、誘導及び案内
 - ・レンタサイクル管理業務
 - ・地域交流センターの管理業務……他



民間委託を検討している立石港務所

主な質問事項

- 藤田徹也 議員……………・運営経費の策定根拠と5ヵ年程度の経費の推移はどのようになっているのか。
- 公営事業課長……………・年間の業務日数、常時雇用人数（2名）による人件費をもとに算定。
経費の増減については雇用者の給与増に伴う微増は見込まれる。
- 大西幸江 議員……………・券売機、レンタサイクルの件数当たりの手数料についてはどのように扱うのか。
- 上村町長……………・業務内容に含むため、別途手数料は発生しない。

魚島航路改善協議会（経過報告）

魚島航路の現状や課題、島民のニーズ等を把握し、問題点を解消する具体的な対策として「航路改善計画」を策定し、老朽化している「ニューうおしま2」についても更新時期や更新する場合の新造船の仕様について検討し、ハード面及びソフト面の両面から計画を策定する。

第1回魚島航路改善協議会において、更新の際には、J R T T（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）との共同建造制度を活用することが承認された。



新造船が検討される魚島航路

主な質問事項

濱田高嘉 議員

- ・7月27日付け愛媛新聞で新造船を建造すると報道されたが、議員への報告は今日までされなかった。こういった取り扱いなのか。

上村町長

- ・新聞報道は「建造の方針が決まった」とのことであり、建造に関しては最終的には議会に諮ることになる。

岩城橋の開通行事について

令和4年3月の岩城橋供用開始に合わせて、生名橋開通イベントと同様のイベントを計画していく。



生名橋開通イベントの様子 (H23.2.6)



立石港務所管理業務の民間委託は「協議事項」？「報告事項」？

- | | |
|---------|--|
| 寺下満憲 議員 | ・立石港務所管理業務の民間委託について、民間委託移行スケジュールを示しているが、早い時期に協議を行わなければ、当初予算の賛否においてしか議員の意思を示す場が無い。 |
| 上村町長 | ・スケジュールについては、4月1日から委託開始に向けての理事者側の提案である。また、報告事項なので決定事項として示してはならない。議会側が必要とするのであれば、別途対応する。 |
| 寺下満憲 議員 | ・現港務所の運用開始時には委託料が860万円程度であったものが年々増加し、前宮脇町政において経費が安く済むとの判断から直営化していた。また民営化するのであれば、数字的な根拠も含めて、十分な説明・協議が必要である。 |
| 上村町長 | ・議員の言われる通り、根拠を示す必要は認識している。 |
| 大西幸江 議員 | ・議会からの要望があれば協議に対応するという事なので、協議会開催を要望する。(議長への要望) |
| 上村町長 | ・この場で協議会の開催要望を出すのではなく、議員間で必要の可否を検討の上、協議会を開いてほしい。 |
| 寺下満憲 議員 | ・議会側の主導(要請)ではなく、理事者側からの「全員協議会」での協議事項として取り扱うつもりはないのか。 |
| 上村町長 | ・本日の案件については報告事項として挙げている。議員協議会等を別途開いて協議するなら対応する。 |

○令和4年度上島町の施策等に関する要望

上島町の懸案事項を来年度の国の予算に反映させるため、担当省庁、愛媛県選出国會議員に向け、上島町重要施策の要望を行政と上島町議会の連名により行った。

要 望 事 項

- ①離島航路の指定緩和
- ②離島医療の充実
- ③離島における燃油等格差是正
- ④歴史文化遺産の調査や保存
- ⑤島内道路における道路構造物整理
- ⑥関係人口制度の確立
- ⑦断水への備えに対しての支援
- ⑧地方創生の実現に向けた実効性のある支援
- ⑨水産業振興への支援
- ⑩公営住宅の入居基準の緩和
- ⑪上島架橋全線開通後のまちづくりについて



空室が目立つ公営住宅の活用

主な議案等に関する審議結果

○令和2年度上島町財政健全化判断比率及び資金不足比率

令和2年度上島町財政健全化判断比率及び資金不足比率について、早期健全化基準に対し、下記の通り上島町の財政は健全であると報告が行われた。

・実質公債費比率	12.9% (25%)	・実質赤字比率	- (15%)
・将来負担比率	44.9% (350%)	・連結実質赤字比率	- (20%)

※カッコ書きは早期健全化基準数値

家計に例えると？

- ・実質公債費比率……………年収（財政規模）に対するローン返済額の割合
- ・将来負担比率……………借入金（地方債）など負債の大きさを財政規模の割合で表したもの
- ・実質赤字比率……………一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率
- ・連結実質赤字比率……………地方公共団体の全会計の赤字の財政規模に対する比率
- ・早期健全化基準……………財政健全化に基づくイエローカード。レッドカードは財政再生基準

○物品売買契約の締結（スクールバス購入事業）

契約の相手方

西村自動車 西村哲彦

契約金額

764万円3千9百円

用 途

弓削中学生送迎用



29人乗りのマイクロバス

9月 定例会

令和3年第3回定例会は、9月9日～24日に開かれました。提出された25議案を審議した結果、決算認定案16件及び補正予算案5件については、予算決算委員会に審査を付託後、原案可決。一般質問は5名でした。

○令和2年度決算認定及び令和3年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算

予算決算委員会に審査を付託していた、決算認定案 16 件及び一般会計補正予算並びに特別会計補正予算、計 5 件を付託しました。

(詳細記事は、7 ページから 8 ページをご参照ください。)

○令和3年度 上島町一般会計補正予算（第3号） 4,600万円

反対討論！

本予算は、おおむね問題ないものと思えるもののサウンド波間田受付業務は、生名にあるキャンプ場の土日管理を民間に委託するという説明であった。

しかし、金額の算出根拠は理解出来たが、なぜ委託に出すのか、どういうふうにするのかという部分の説明が不明瞭で納得が出来ない。業務内容を考えれば、立石港で行ったほうが利用者にとっては有益である。

また、平日の受付や予約業務については、建設課が生名支所で行う。委託した場合の連絡等業務の連続性に疑問を感じる。平日が行政で土日が委託した民間となれば、どちらが責任を持つのかという点においても曖昧になる。

また、予算も可決していないまま、8月2日から公募をかけ、既に令和3年8月14日から10月13日の業務委託を行っており、委員会でも何の説明もなく話を進めていくことは、行政側の不誠実さを感じる。

募集要項には、受付が終われば、業務終了となっており、突然の利用や利用時のアクシデントに対応できるとも思えない。本来、行政と議会とは対立関係ではなく、町をよりよくするための協力関係でなければならない。行政が独りよがりとも言える行動を行えば議会や議員のみならず、住民との信頼関係が築けなくなってしまう。

ここで一旦立ち止まって、本当に委託しなければならないのか、委託する業務内容や責任の範囲は適当なのか、皆さんで話し合っていたきたい。

民間委託すれば安いと言うが、本当にそうか。確かに表面に見える金額は少なく見えるが、町の信用を保つために、様々な形でサポートしていかなければならない。委託したらそれで終わりではない。行政が行う安心感や信用度など、お金に換算出来ない部分も考慮すべき。



大西幸江 議員



土日祝日、受付業務が委託されたサウンド波間田キャンプ場

一目でわかる審議結果

賛否の分かれた議案

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 地方自治法第117条による退場者：—

議案名	議員名	徳永貴久	林敬生	藤田徹也	山上耕司	宮地利雄	林康彦	池本光章	藏谷重文	大西幸江	亀井文男	濱田高嘉	池本興治	寺下満憲	前田省二	審議結果
令和2年度上島町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	欠		賛成 8人 可決
令和3年度上島町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	欠	○	賛成 6人 同数 議長裁決 可決

全会一致の可決議案

令和2年度上島町国民健康保険事業会計歳入歳出決算認定について	令和2年度上島町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算認定について
令和2年度上島町国民健康保険診療所事業会計歳入歳出決算認定について	令和2年度上島町生名船舶事業会計歳入歳出決算認定について
令和2年度上島町へき地出張診療所事業会計歳入歳出決算認定について	令和2年度上島町上水道事業会計歳入歳出決算認定について
令和2年度上島町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算認定について	上島町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
令和2年度上島町公共下水道事業会計歳入歳出決算認定について	上島町投票管理者等の報酬支給条例の一部を改正する条例
令和2年度上島町簡易水道事業会計歳入歳出決算認定について	令和3年度上島町国民健康保険診療所事業会計補正予算(第1号)
令和2年度上島町CATV事業会計歳入歳出決算認定について	令和3年度上島町へき地出張診療所事業会計補正予算(第1号)
令和2年度上島町農業集落排水事業会計歳入歳出決算認定について	令和3年度上島町介護保険事業会計補正予算(第2号)
令和2年度上島町農業集落排水事業会計歳入歳出決算認定について	物品売買契約の締結について(スクールバス購入事業)
令和2年度上島町介護サービス事業会計歳入歳出決算認定について	上島町過疎地域持続的発展計画の策定について
令和2年度上島町浄化槽事業会計歳入歳出決算認定について	令和3年度上島町一般会計補正予算(第4号)
令和2年度上島町魚島船舶事業会計歳入歳出決算認定について	

予算決算委員会

令和3年9月14、22日 弓削総合庁舎議場にて開催

予算決算委員会委員長報告

決算認定案16件審査結果

議案第61号「令和2年度上島町一般会計歳入歳出決算認定について」は9対3の賛成多数をもって可決。議案第62号「令和2年度上島町国民健康保険事業会計歳入歳出決算認定について」から議案第76号「令和2年度上島町上水道事業会計歳入歳出決算認定について」は、全会一致をもって原案のとおり認定するものと決定した。



報告する林康彦 委員長

審査時において出された主な意見

- ・空き家バンクについて、ホームページの内容を充実させ、またNPO団体と連携して活用方法の協議を進めてほしい。
- ・医療費補助を高校生まで引き上げを検討してはどうか。
- ・岩城橋が開通した後、公営塾を利用する学生の足の確保を検討してほしい。
- ・イノシシ捕獲隊の組織化について、新たに資格取得した者に対する育成や連絡を密にしてほしい。
- ・補助金支給後の効果等、事後検証をしてほしい。

議員間討議

令和2年度の補正予算でパッカー車購入費を計上したが購入していない。また、塵芥収集運搬処理業務委託に係る提言について行政からの回答があったが、その回答書に基づき実施されたのか疑問である。その件について経緯の説明を求めているが、その回答が未だに得られていない。

移住定住の促進にも取り組んでいる町内NPO団体

※令和3年9月14日現在

しまの会社



空き家紹介実績 19軒

頼れるふるさとネット



空き家紹介実績 7軒

NPO団体のトップが語る移住定住促進のポイント

- ・相談に来られた方の話を聞いて、希望に沿った物件を一緒に探す。(紹介する)
- ・移住することが決まったら、移住のお手伝いをする。(空き家の整備など)
- ・移住して来たら、日常の相談に乗りながら、生活環境を整える。(ご近所付き合いなど)
- ・移住から定住につなげるためには、日常のお付き合いが大事。

どちらのNPOの方も、周辺住民の方の協力あればこそ移住定住が成功するというお話でした。移住も定住も成功ばかりではありません。空振りに終わることもあります。きめ細やかな長いお付き合いが大切だそうです。

補正予算案5件審査結果

議案第79号「令和3年度上島町一般会計補正予算（第3号）」については、6対6の同数となり、委員長採決により否決。議案第80号「令和3年度上島町国民健康保険診療所事業会計補正予算（第1号）」から議案第82号「令和3年度上島町介護保険事業会計補正予算（第2号）」まで並びに議案第85号「令和3年度上島町一般会計補正予算（第4号）」の補正案4件については、全会一致をもって原案のとおり可決するものと決定した。

令和3年度上島町一般会計補正予算（第3号）

こんな予算がつきました

いきなスポレク公園野球場

グラウンド設備修繕工事 125万4千円

【予算概要】

- ・野球グラウンドの各ベース及びピッチャーマウンドの金具、ベース、プレートの更新、ブルペンの高さの調整を行う。



スクールバス専用車庫建設工事 600万円

【予算概要】

- ・生名郵便局の隣にある町有駐車場に倉庫型ガレージタイプの車庫を新設。
- ・13区画の内、2区画をバス車庫に使用。
町の駐車場は13区画から11区画に縮小。



議員間討議

サウンド波間田受付業務

— 反対意見 —

- ・各種イベントが中止していく中、サイクリスト、キャンプ場使用に住民批判が出ている。人命に関わる問題であるのに、キャンプ場を閉鎖せず、管理を外部に委託するのは如何なものか。
- ・現金の扱いについて、宿直者ではできないとの回答であったが、運用で可能だと考える。スポレクへ、現在計上している金額より安価に契約する方法も考えられる。

— 賛成意見 —

- ・問題は、委託に出すか出さないかであり、職員の時間外と委託管理料が予算的にどうかという点について理解しづらいところがあるが、職員が毎週土日、時間外を使う事を考えれば安いと考える。
- ・職員がしている業務を委託し、かつ経費が安くなるのであれば予算は認めるべき。ただし来年度以降、委託の方法等について十分検討・審議する必要がある。

一般質問

令和3年9月9日に開催された第3回定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。答弁に関しては、理事者側答弁ということで答弁者の個人名は省略。また一般質問は質問者が400字程度で要約しています。



太田地区集会所から県道に抜ける通路

問 太田地区緊急避難場所経路において、緊急を要する人、また物資運搬等には、せめて軽自動車が通れる道路整備が必要だと思うが、町はどうお考

えか。また、道路浸水、塀の倒壊等により緊急避難場所が孤立する恐れがある為、峠を越える道路整備が併せて必要であると考ええるが町はどうお考えか。

災害発生時に備えた「太田地区緊急避難場所」経路整備を



藤田 徹也 議員

答 まず、峠付近から太田集会所まで幅員3.0mとする改良工事計画をしていたが、予算化には至って

おらず、災害対策工事として有効な対策なので、早急の実施すべきであると考えている。また、太田側からの車両侵入については、避難道や物資運搬経路として、整備すべきであると考えている。道路

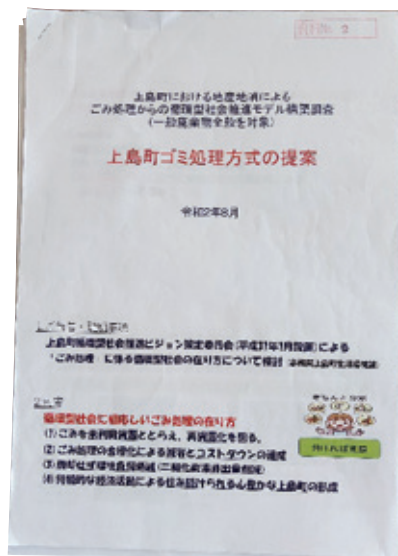
上島町循環型社会推進ビジョン策定業務のその後



寺下 満憲 議員

整備については用地確保が前提となり、太田地区の皆様方のご協力が必要であることをご理解いただきたい。

★★★★★★★★★★★★★★★★



上島町ゴミ処理方式の提案書

問 2019年に町は、循環型社会推進ビジョン策定委員会を設置した。2020年8月には、循環型社会に即応した、ごみ処理方式が提案された。その内容は、

答 前町長時代に提言があった同じ年度内に廃棄物処理5ヶ年計画である、上島町ごみ処理計画が作成されている。中間処理の方法は、焼却方式を継続させる。ごみの質の変化に対応しながら、現状どおりの高度な公害防止対策を図るとなっている。

地域生活の拡充を

問

町では、身体障害者手帳の交付を受けた難聴児・難聴者は、身体障害者総合支援法に基づき補聴器の購入費を受けられる制度が整備している。

町内では、高齢化が進み加齢難聴・造船関連企業に勤務した労災難聴の人が増えていると思う。

また、最近では、国際的機関である「国際アルツハイマー会議」でも、難聴は認知症の最大の危険因子とされている。

そこで高齢者の生活の質の向上を鑑み、町独自の助成制度を創設しては如何なものか。

答

身体障害者手帳の交付対象にならない比較的軽度の18歳未満の方に対し「上島町軽度・中等度難聴児補聴器購入制度」により、補聴器の購入費の一部を助成している。高齢者には、現段階では助成制度は無いが、軽度・中等度の難聴の増加や、町民からの多くの要望が確認出来れば高齢者の積極的な社会参加や地域交流

の支援、健康増進及び認知症予防に資することを目的に町独自の助成制度を具体的に実現の方向に向かっていく。

★★★★★★★★★★★★

濱田 高嘉 議員



魚島航路船舶の更新等について

問

魚島航路改善協議会が設立され、7月27日せとうち交流館で初会合が開催され、老朽化した「ニューうおしま2」を更新し、新造船を導入する方針を決めた。建造費は町と鉄道建設運輸施設整備支援機構（通称JRTT）が負担し、新造

船を共有し、町が使用管理する共有建造制度を活用する案が賛成多数で承認されたとの報道だが、新造船は19トンクラスか、賛成多数であるが何対何票か、島民アンケートの結果等についても答弁を求める。

答

現有船「ニューうおしま2」総トン数52トンで、就航から17年が経過し、標準耐用年数の15年を超え



17年経過したニューうおしま2

ており船舶の更新は必要であり、更新時期や船体構造、大きさ等の仕様は、利用者のご意見を参考に本協議会で協議検討を行い改善計画に盛り込んでいく予定である。また、JRTTとの共有建造制度を活用することについての採決結果が8名中7名が賛成、島民アンケートについては、集計途中で結果がまとまり次第、協議会に報告

し、審議資料として活用する。

岩城橋開通に伴う芸予汽船運行等について

問

第三セクターの芸予汽船は昭和62年に設立され34年が経過、その間「しまなみ海道」全線開通等による陸上・海上交通体系が著しく変化し、フェリー運行を平成20年6月に廃止、開業時は年間約65万人の利用者が令和2年には約7万3千人まで減少し、快速船も平成23年から赤字へ転落、それ以降赤字運営が継続し、3自治体（上島町、今治市、尾道市）が税金で赤字を全額補填している。この状況を打開する何か新しい構想や枠組み等があれば答弁を求める。

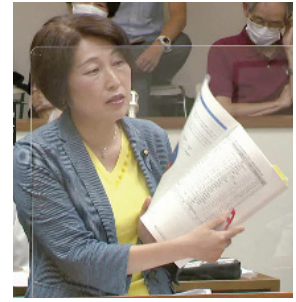
答

芸予汽船は、住民の皆様に必要な生活航路として、平成23年度から2市1町が赤字補填をしながら運営を維持している。岩城橋架橋後は、利用者の減少等の影響が予想され、3市町及び芸予汽船で構成するワーキンググループ会議を設置し、現在就航する事業者を活用し、架橋後の運行便数、ダイヤ等の運行体制について、利用実績、収支状況を踏まえた調査研究を行い令和4年4月1日から7便運行で航路を維持する方針を決めた。



平成10年12月就航のちどり

大西 幸江 議員



公共施設の統廃合の目標は

問 公共施設あり方検討協議会は、公

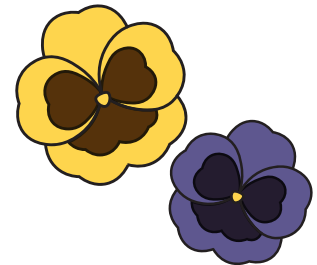
共施設等総合管理計画にのっとり、昨年度策定された個別施設計画を踏まえ、上島町が所有する公共施設を今後どのようにするかを協議するが、個別施設計画では主要85施設しか検討されていない。残り181の公共施設についてはどのように取り扱われるのか。また、最終的な公共施設の数、もしくは財政負担の削減の目標はどのぐらいに決めているのか。

答 個別施設計画の中に入っている85施設だけでなく、近隣の施設も併せて協議していく。最終的な公共施設の数については、個別施設計画の中では定めていない。財政負担の削減目標は、40年間で9億3,000万円のコスト削減を見込んでいる。

個別施設計画の中に入っている85施設だけでなく、近隣の施設も併せて協議していく。最終的な公共施設の数については、個別施設計画の中では定めていない。財政負担の削減目標は、40年間で9億3,000万円のコスト削減を見込んでいる。



町が作成している計画



林 敬生 議員



道路沿いや傾斜地の立木の剪定または伐採を町が実施すべきではないか

問 道路沿線の立木の枝、民家の裏手の急傾斜地のがけ崩れ対策を施した後の上部に生えている木々の枝ぶりが大きく膨らんだ立木や枯れ松などが多く見受けられる。昨今の異常気象とも言える長雨や強風の影響でそれらが倒木となり、少なからず町民の財産や生命を脅かすものとなり得ると考えられる。

これらの剪定や伐採を行うには行政の介入が必要ではないかと考えるが、町として調査・対応の現状は如何なものか説明を求める。

答 住民の方や地区の代表者から要望や通報等があった場合には、所有者等を調査し、自力で対応が出来ない場合は、町の方で可能な範囲で対応している。

住民の方や地区の代表者から要望や通報等があった場合には、所有者等を調査し、自力で対応が出来ない場合は、町の方で可能な範囲で対応している。

行政が介入しなければ解決出来ない現場も出てきているので、廃屋対策等と同様に、行政による伐採等の仕組みも考えなければならぬ時期に来ていると考えている。



フェンスより高くなった樹木

あなたの声をお聞かせください

町民の皆様の声を募集しております。身近で起こった出来事、議会について思っていること、ご希望・ご要望など何でも結構です。是非、編集委員会宛にお送りください。

〈応募要件〉

500字程度でお願いします。紙面の都合上、掲載されないことがあることをご了承ください。

原稿もしくは電子メールにてご応募ください。

住所・氏名は明記してをお願いします。匿名はお受けできません。

〈送り先〉

〒794-2592 上島町弓削下弓削210

上島町議会事務局「議会広報委員会」宛

TEL : 0897-77-2500

FAX : 0897-77-4011

E-mail : gikai@town.kamijima.ehime.jp

議会の活動予定

12月	6日(月)	議会運営委員会
	7日(火)	全員協議会
	14日(火)	定例会
	17日(金)	予算決算委員会
	23日(水)	予算決算委員会 定例会(再開)

毎月1回 月例出納検査

議会・全員協議会・常任委員会は、どなたでも傍聴できます。詳しい日程は、議会事務局(☎77-2500)までお問い合わせください。

訂正：前号議会だよりにおいて、右記間違いがありました。訂正してお詫び致します。

岩城島と生名島の間に橋が架かった。実際に通行できるようになるのはまだ先だけれど、あれほど大きな構造物を作り出すのに、どれだけの手続きや仕事があったのか想像もできない。人間の営みの凄みを感じる。交通の変化が起ることで私たちの暮らしも少し、もしくは大きく変化するだろう。道ができることで生活が便利になると何かしらの変化があるはずだし、そうあってほしい。離島同士を橋でつなぐより本州につながる道がほしい、と思うかもしれない。実際その方が便利だとは思わないけれど。

ただ、個々の小さい島より固まった大きな島になる方が良いこともあるはずだ。インターネットのバトルゲームの広告で、自分の持ち点を大きくしていくゲームを見かける。自分の島は最初1ポイントだから1ポイントの島としか戦えないけれど、1ポイントの島と戦うと合体して2ポイントになる。2ポイントになると1ポイントの島とも2ポイントの島とも戦えて、どんどん数字が大きくなるのだけれど、次の手を考えずにその向かう先に自分より大きな数字があると負けてしまう、というゲームだ。小さな島でも集合して大きなまとまりになれば、大きな島や町にも劣らない魅力的な土地になるかもしれない。

はたして、どれだけの生活の変化や経済的な効果を生むのか。実際に交通が始まってから明らかに変わってくるだろう。願わくば町内の人々の心も繋ぐものになればいいなと願いつつ…。

岩城地区

浦安 元太

該当箇所：6P 議案名：公共交通に関する特別委員会の設置

審議結果													
前田省二	寺下満憲	池本興治	濱田高嘉	亀井文男	大西幸江	藏谷重文	池本光章	林康彦	宮地利雄	山上耕司	藤田徹也	林敬生	徳永貴久
賛成11人	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成2人	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

編集後記

オリンピック、パラリンピックも終わりましたが私は凄く元気をもらいました。皆さんはいかがでしたか。全ての選手達の優れた才能と努力には、たとえ入賞しなくても頭が下がりました。

さて、この選手たちもたくさんの方が応援してくれて、ここまでなれたと私は思っています。

話は変わりますが、議会だよりの編集には五人の新人議員が全員関わっています。先輩ふたりと共に「議会だより」を作っています。皆様に楽しく読んでいただきますように今後とも頑張ります。

応援・声援をよろしくお願いいたします。なお応援のお願いには必ず、お礼のメールをいたします。

宮地利雄



上島町議会広報委員

委員長 徳永 貴久

副委員長 藤田 徹也

委員 寺下 満憲

委員 大西 幸江

委員 宮地 利雄

委員 山上 耕司

委員 林 敬生